

## 2014年 短期講座「ばらづくり」開校式での学長挨拶

戦後の平和と復興を願って市民が植えた1000本のばらの花を後に福山市の花に指定し、今、85万本にまで増えたと一昨日の山陽新聞が伝えています。昨年1年間で8万本増えたとも報じています。

1916年に福山町から福山市になって今年で98年目、2年先には市制施行100周年を迎えます。その際には多くの市民の参画で「100万本のばらの街」を実現し、明るいまちづくりと福山市のブランドの向上にも繋げようとの取り組みがなされています。

この取り組みに協賛して、老人大学も福山市の全面支援を得て、昨年度から「ばらづくり」講座を開設いたしました。

40名近い学生さんから受講申し込みをいただき、このように盛会裏に開講式が開催できますことを嬉しく思います。

この講座でばらづくりの心と技を学ばれて、家庭や地域でのばらづくりに活かしていただきますことを期待して、開講にあたってのご挨拶といたします。